

さくらやま便り

No.375 号 2025 年（令和 7 年）12 月 15 日



クリスマスの贈り物

『雪よりも白くし給う神』

チャブレン 上前 至

今年もクリスマスが近づいてきました。クリスマスと言えばサンタさんがトナカイに乗って子供達にプレゼントを持って来てくれるという楽しい出来事を思い出す時もあります。

特に子供の頃は、クリスマスの翌朝に、今年は自分の枕元にどんなプレゼントが置かれているのだろうかと思像するのが楽しみでした。

そんなクリスマスは、私にとっては楽しい思い出がよみがえる日でもあるのですが、そんな時に、いつも私の脳裏によみがえってくるふたつの風景についてお話ししたいと思います。

ひとつは、今から60年程前のことです。私の故郷は、京都に近い丹波篠山市にある黒岡村です。今も、そうですが、篠山は人里離れた、まわりは畑とたんぼばかりという田舎の中の田舎といわれるような場所でした。私は、その岡部村で小学校6年生になるまで育ちました。

戦後間もないころ、そのような田舎で5人の子供を育て、食べさせていくのは両親にとって大変な事であったと思います。

そのころ、杜氏（とうじ）と言って、冬の間だけ、



農家の仕事も暇になることから、男たちが阪神地区の灘にでかけ、酒造りの出稼ぎに出て行くという習慣がありました。父もそれにならって仕事を求めて阪神地区に出ていったのです。



幸い、父は美術専門学校（現、武蔵野美大）を出ていたことから、中学校の美術教師の職を得ることができました。

とにかく、そうしたことから、我が家は阪神の西宮に居をかまえ、私は高校を出るまで、そこで過ごすことになりました。そして、そのことが私にとって大きな人生の転機となったのです。

というのも、何も知らない田舎から出てきて、大都会の西宮に住み、いわゆる「団塊の世代」といわれる、大勢の生徒たちによる競争に明け暮れる日々が始まり、私はその中で登校拒否生になってしまったのです。

しかし、私の本当の悩みは「競争」そのものではなく、それから派生する「人は何のために生きるのか」という問いの答えを見出せなかったこと、また、その答えを誰も教えてくれなかったことでした。

そのような中、姉から紹介されたのが、近くのキリスト教会でした。そして、やがて、その教えに捕らえられていった私は、「人は何のために生きるのか」という人生の問いに対する答えを聖書の中に発見し、それを私の一生の生き方にしていく道を歩んでいくことになったのです。

その後、神様は、こんな私を牧師へと召し、更にその道を深めていくためにも、アメリカやカナダでの学び、経験を得させられたのです。

今まで多くの場所に移り住んで、気が付くと25回も転居していました。



その後、私は、48才の時に福祉職に転じ、現在に至ります。この職に転じてからは、今までとは全く逆に、一ヶ所に長く留まることになりました。

もうひとつの風景は、黒岡村でのある12月の寒い朝の出来事です。私が住んでいた家の窓は、ガラスではなくすべて障子でした。その障子窓の外がいつもと違って、明るく輝いて見えたのです。

私は「どうしたのだろう」と思って障子窓をいっばいに開けると、そこには、一面、雪で覆われた銀世界が広がっていたのです。そのときに味わったあの、真っ白な雪の世界の美しさを、私はクリスマスを迎えるたびに思い出すのです。

イエス・キリストを受け入れてクリスチャンとなつたいま、あの頃の景色に思いを馳せながら、ある聖書の言葉を思い出します。

「(7節) わたしは咎のうちに産み落とされ 母がわたしを身ごもったときも わたしは罪のうちにあったのです。(9節) ヒソプの枝でわたしの罪を払ってください わたしが清くなるように。わたしを洗ってください 雪よりも白くなるように」

(詩篇51篇7節、9節) 新共同訳

クリスマスの時期に自分の人生を振り返るとき、真っ黒だった私の心の中の罪を、雪よりも白くしてくださる神様を知っている事を私は心から感謝いたします。

ちよこつとニュース

主任 池原雅彦

◎第83回 あさひ亭まねき寄席

「落語と浪曲の会」

1月10日(土) 旭区民文化センターサンハートにて、行われます。詳細は1階自動販売機前の掲示版をご覧ください。

◎ボランティアさん紹介

・12月から館内のお掃除をしていただいています。



上前恵美子と申します。
毎週、火曜日と水曜日の午前中にボランティアをさせていただくことになりました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

◎今月の一句(短歌と川柳そして絵画です)

・滝口さん 君が憂いに吾は泣き
孤立孤独の 脱却希(ねが)う

齊藤 勇夫

・老犬の 歩に合わせゆく 落ち葉みち
柳瀬 和子

絵 吉田和子



「水ひき草」山野に自生するタデ科の多年草。里や町中でも見られ、赤色の小花をまばらに穂状につけ、水ひきに見立てた。

生活相談員から

●行事予定

12月23日 歌声サロン
12月25日 クリスマスディナー
12月31日 年越しそば
1月1日 元日 祝い膳
1月13日 歌声サロン

●(再)体調に気をつけてください

現在、横浜市内ではインフルエンザ流行警報が出ています。栄養を摂り、十分な睡眠時間を確保し、外出後には手洗い・手指消毒をお願い致します。少しでも体調の変化や熱などがあれば受診されるか、コロナ・インフルエンザ簡易キット(実費)がありますので、事務所までお声かけください。

●つぶやき

寒くなつて、運動がおろそかになってきました。時々、部屋の中でユーチューブを見ながら、体を動かすと、体の内側から暖かくなり、「また、やろう」と気持ちが前向きになります。別の日に運動しようとユーチューブを開くと、運動はそっちのけで、面白そうな動画に時間がつぶれていくのです。寒さとユーチューブに負けたくない冬を過ごしたい...と思う今日この頃。(池原)

今が旬の柚子



ケアハウスでは年に一度、柚子風呂を実施しています！